

学校だより

令和5年11月1日(水) 第7号

自ら学ぶ生徒・心の豊かな生徒・強くたくましい生徒

さいたま市立西原中学校

住所 さいたま市岩槻区大字岩槻3750番地

電話 048-756-1117

学校 Web ページ <https://nishihara-j.saitama-city.ed.jp/>

合唱の素晴らしさ

校長 細井博幸

11月となりました。心なしか学校周辺の道路に落ち葉が目立つようになってきたように感じる今日この頃です。最近、正門前で挨拶をしていると、男子テニス部の子どもたちが自主的に集まり、顧問の先生とともに道路の落ち葉を掃除してくれています。少し肌寒さを感じるようになった朝に、心を温めてくれる光景です。ありがとうございます。

10月は校内各所から子どもたちの歌声が響いていました。10月28日(土)の合唱祭に向けた各クラスでの子どもたちが主体となった熱心な練習、そして合唱祭当日の素晴らしい歌声に、私は感心しきりでした。最高の歌声という正解のない答えに向かって、子どもたちは、「歌う」→「改善策を話し合う」ことを何度も何度も繰り返してきたことでしょう。多くの時間を費やしたからこそクラスの歌声はより美しく重なり、響き、クラスの絆の深まりを感じることができたのではないのでしょうか。各御家庭でもお子様の合唱祭での頑張りを褒めていただけると幸いです。しかし、合唱祭はまだ終わっていません。3年生1クラスが合唱祭当日に欠席者急増、発表前に繰り上げ下校、学級閉鎖となってしまったのです。合唱祭では、その他のクラスは歌い、3年生のみ結果発表はなしとなりました。そこで、11月6日(月)の朝の時間に、全校生徒及び当該学級保護者の前で合唱、審査、昼休みに最優秀賞を発表することとしました。3年生は、これまでの自分たちの練習、歌声を信じ、結果を待ちましょう。

さて、地域・保護者の皆さんが最後に大勢の人前で歌ったのはいつでしょうか。歌うことが好き、カラオケが趣味という方もいるかと思いますが、大勢の前で歌うとなると少数かもしれません。私事ではありますが、10月22日(日)やまぶきまつりにて、右の写真の仲間たち「ワッツ・ゴスペル」の一員として野外ステージで歌ってきました。ワッツ・ゴスペルはワッツの名のおり、岩槻区で活動しているゴスペルサークルです。私が歌い始めたのは、今から11年前のこと。同期の友達に誘われたのがきっかけでした。歌は好きでしたが、学生時代から合唱サークルなどでの活動はなく、ゴスペルというジャンルの曲も好んで聞いていた訳ではありませんでした。しかし、実際に活動を始めてみると、The Voices of Japan (VOJA) のメンバーとして活動されていた石森扶美子先生と仲間達の人柄の素晴らしさ、いつも笑顔で的確に分かりやすい指導をしてくれる先生、活動を通して初めて出会ったゴスペルの曲を歌うことの楽しさなどに惹かれ、私の大切な趣味となりました。とはいえ、人事異動による勤務地の変更や仕事の忙しさ、新型コロナの影響もあり、久しく参加できない時期がありました。この4月に岩槻区に赴任し、活動を再開することができました。とても嬉しいことでした。ワッツ・ゴスペルに入らなければ、決して関わることはなかったであろう世代も出身地も仕事も考え方も違う人達に出会い、ゴスペルを通して声と気持ちが一つになることは、私の心を元気にさせてくれます。私も歳を重ね、新たな曲の英語の歌詞が頭に入りにくくなっていますが、繰り返し練習することで必ず頭に入り、歌えるようになった時の達成感はとても嬉しいものです。子どもたちも合唱祭を通して、それぞれの「できた」という達成感を得ているのではないのでしょうか。今後の学校生活においても、自らの課題を意識し、できるようになりたいことを明確にし、繰り返し努力、できるようになったという達成感を何度も何度も味わってもらいたいと願っています。



ワッツ・ゴスペル